

広報

# ただみ

7  
2023 月号  
No. 638  
令和5年7月10日



## 今月の表紙

### 【臨時列車「雪月花」初入線】

えちごトキめき鉄道株式会社の観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」が6月17日、JR只見線に初入線しました。

只見駅には多くの方が訪れ、ホームや沿線で手を振りながら、乗客のお出迎えをしました。

### 《特集》

只見線全線運転再開通1周年記念イベント

..... 2

只見駅開業60周年記念イベント・式典

..... 3

### 《News&flash》

..... 4

### 《町の話》

..... 7~11



只見エネスコエコパーク

2023年

10/

1

日

# 只見線全線運転再開

## 1周年記念イベント

特別列車と  
手を振って出迎えた皆さん



平成23年の新潟・福島豪雨災害において甚大な被害を受け、不通区間となっていたJR只見線会津川口駅から只見駅間が昨年10月1日、約11年ぶりに全線運転再開をしました。あの歴史的な日から1年！新たな歴史を刻み始めた只見線の魅力を感じながら楽しめるイベントを開催いたします。

昨年に引き続き、『自然首都・只見 水の郷 うまいもんまつり（9/30～10/1）』と合同で開催となります。

昨年の様子を写真でダイジェストとしてご覧ください。1周年記念も一緒に盛り上げましょう！

全線運転再開を記念した  
花火が打ち上げられました



鼓笛で  
只見線を出迎えた  
只見小学校児童

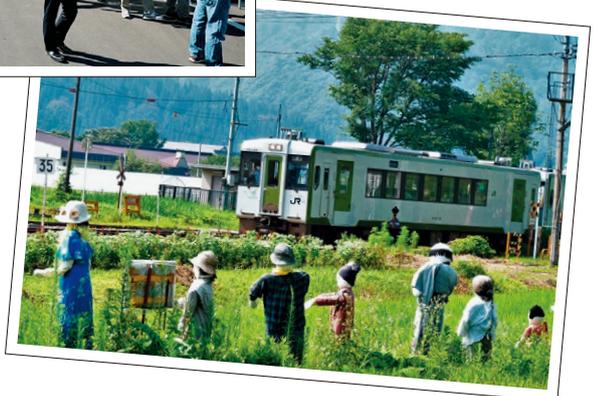


全線運転再開で、  
賑わった昨年の  
うまいもんまつり

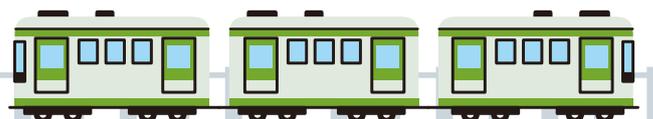


只見駅周辺では  
羊も只見線の  
お見送りをしています

只見線を見送るかし



- 記念事業に関するお問い合わせ  
只見町交流推進課 ☎0241-82-5240
- うまいもんまつりに関するお問い合わせ  
只見町商工会 ☎0241-82-2380



2023年

8/20

日

# 只見駅開業60周年

## 記念イベント・式典

### 祝 只見駅60歳バースデーイベント

**場所** 只見線広場

**時間** 午前中開催予定

参加者皆さんで、只見駅開業60周年を楽しみながらお祝いできるイベントを開催予定です。



只見駅は、昭和38年8月20日開業し、本年開業60周年の節目の年を迎えます。これを記念し、只見駅前（只見線広場）及び季の郷湯ら里において記念事業を実施します。

只見線を愛し只見駅をご利用されている方や、魅力を発信している方など、只見駅を支えていただいている皆さんと一緒に只見駅の60周年を振り返りながら、未来に残す魅力を発見、創造するイベントとなるように盛り上げていきましょう。



### 篠崎隆一さん写真展

**場所** 季の郷湯ら里

開業当時から只見線と只見駅を写真に撮り続けてこられた篠崎さんの懐かしく大変貴重な写真を展示します。



### 六角精児さんトークライブ

**場所** 季の郷湯ら里

**時間** 午後開催予定

旅好き、鉄道好き俳優の六角精児さんのトークライブを開催します。



## 只見駅の沿革

戦後、只見川の電源開発が盛んになったことから電源開発会社が発電所建設資材を輸送するために整備されました。

- ・昭和32年 電源開発専用鉄道開業
- ・昭和38年 専用鉄道の施設を利用して開業（8月20日）
- ・昭和46年 只見駅・大白川間延伸開業（只見線全通）
- ・昭和62年 東日本旅客鉄道（JR東日本）の駅として発足



自然を生かしたまちづくり  
只見町長、教育長が  
栃木県那須町を訪問



▲平山町長(中)と有意義な懇談となりました

渡部町長と渡部教育長は、5月18日にゴウウツツジ群落や那須連山などが有名な栃木県那須町を訪問し、平山幸宏町長と懇談をしました。  
懇談では、自然を生かしたまちづくりや今後の交流について、意見や情報交換が行われました。  
また懇談終了後には、平山町長にご案内いただき、那須町の視察を行いました。

狩猟の在り方を考える  
「マタギサミット」開催



▲講師を務めた田口教授

「ブナ林と狩人の会…マタギサミット in ただみ」が6月24日、25日に行われました。初日は講演とパネルディスカッションが行われ、全国の猟友会関係者や文化研究者など約200人が参加しました。  
講演では、東北芸術工科大学教授の田口洋美氏が地域ごとの旅マタギの特徴などに触れ、会津に訪れていたことについて解説しました。  
2日目は、秋田マタギの通行した記録が残る叶津番所などを視察し、旅マタギと只見町のつながりを改めて確認しました。  
詳細につきましては、来月号で紹介いたします。

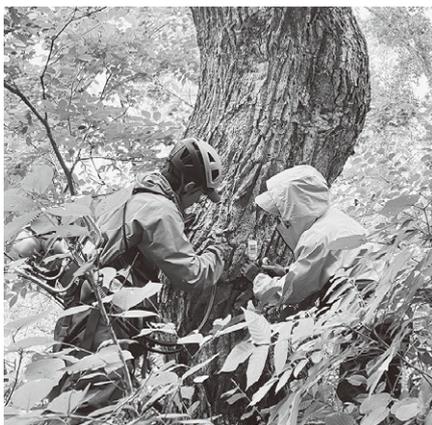
地域の新たな防災拠点に  
消防署口見出張所  
安全祈願祭



▲安全祈願する関係者

南会津地方広域消防本部・消防署口見出張所の新庁舎建設工事の安全祈願祭が21日に、長浜宇川除地内の建設現場で行われました。  
庁舎は鉄骨造り2階建てで、工期は来年3月を予定しています。  
安全祈願祭では、施主の南会津地方広域市町村圏組合の星學管理者が鉄入れを行い、安全を祈願しました。  
祈願終了後には、施行者を代表して南会津西部建設コーポレーションの大瀧取締役が挨拶をしました。  
工事期間中は、建設車両等の往来などご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどお願いします。

貴重な文化遺産を守る  
あがりこ型樹形の  
巨木のナラ枯れ防除実施



▲幹に薬液を注入する様子

只見町ブナセンターは、梁取地区の観察の森に生育する「あがりこ型樹形」のコナラ・ミズナラの巨木を「ナラ枯れ」から守るため、幹に殺菌剤を注入するナラ枯れ防除作業を6月12日に実施しました。  
「ナラ枯れ」は「カシノナガキクイムシ」が媒介する「ナラ菌」によりナラの木が枯れてしまう伝染病です。「あがりこ型樹形」は東北地方でかつて新材を生産するために雪上で樹木を伐採した結果出来上がった独特の樹形を言い、只見町ではモギリツキなどと呼ばれます。これらを持続可能な森林資源の活用を伝える文化遺産として保護・保全を図っています。

令和5年度

# 「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業の 助成テーマ・研究者グループが決定！

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、只見町の自然環境・生物多様性、歴史、民俗、産業に関する調査研究をおこなう研究者に対して助成し、それらの価値を科学的にあきらかにすることで「自然首都・只見」ブランドの向上をめざすものです。審査の結果、今年度は下記の5件について助成を行うことが決定しました。

No.	研究テーマ	助成研究者代表	所属
1	アカミノアブラチャンの遺伝的特徴の解明と増殖技術の確立	森口 喜成	新潟大学 農学部
2	只見町における一般家庭の薪エネルギー活用の経済効果とCO <sub>2</sub> 削減効果の評価	大橋慎太郎	新潟大学 農学部
3	環境DNAメタバーコーディング解析で読み解く只見町の魚類多様性	村上 弘章	東北大学大学院 農学研究科
4	只見町の民具における使用木材種の体系化と利用	井田 秀行	信州大学 教育学部
5	モザイク植生は動物進化のゆりかご：只見町固有陸産貝類を例とした実証	石井 康人	東北大学 理学部

なお、助成研究者は、只見町ブナセンターと連携して調査研究をおこないます。町内で只見町ブナセンターの腕章・ロゴを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査中ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。年度内には研究成果発表会を開催する予定です。



▲ 助成研究者がつける只見町ブナセンターの腕章(左)とステッカー(右)

お問合せ

只見町役場交流推進課ユネスコエコパーク推進係  
0241-82-5963



# 只見町の古民家調査に関する論文が 国際科学雑誌で発表されました！

2015年から2021年にかけて、信州大学教育学部の井田秀行教授らが只見町の古民家に関する調査研究を進めていました。この度、その成果をまとめた論文が、国際科学雑誌「Ecological Research誌」で発表されました。只見町の古民家を通じた人と自然との関わりについての科学的な知見が国内外に広く発信されています。

## ■論文のタイトル：

「Optimizing species selection for the structural timbers of traditional farmhouses in a snowy rural area of northeastern Japan (東北地方の豪雪農村地域における古民家の構造材の最適な樹種選択)」

■著者：井田秀行・佐藤拓真・陸川雄太・阿部伶奈・梅干野成央・土本俊和

## ■論文要旨：

地域の木材を利用して建てられた伝統民家には、森林資源の利用に関する情報が含まれている。本研究では、伝統農家建築(古民家)に木材がどのように利用されていたかを明らかにするため、豪雪地帯である只見町において、1845年から1940年頃までに建てられた11棟の古民家の部材の木材種を同定し、また、住民70世帯から聞き取りを行った。調査した2004部材(1棟あたり99-308部材)、合計材積171.2m<sup>3</sup>(1828部材)からは、計14種が特定された。このうち、スギとキタゴヨウがそれぞれ材積で44%、39%を占めた。ブナは3番目に多く(7%)、屋根を支える扱首(サス)、梁、桁に用いられていた。聞き取り調査の結果、木材は距離1km以内の私有林や共有林から調達され、地元の職人によって伐採、搬出、運搬されていた。たびたび生じる雪崩によって特徴づけられる只見町特有の複雑な植生を考慮すると、地域の高木やその林で、最も入手しやすい樹種はスギであり(ただし自生か植栽由来かは不明)、次に、集落周辺の山の尾根に自生するキタゴヨウであったと思われる。一方、十分な量の木材を供給できるブナ林は限られていたと考えられる。以上から、只見町では雪深い厳しい環境にもかかわらず、歴史的に地元で入手可能な高木が材木として選択されていたと結論づけられる。



▲ 発表された論文

論文はこちらのQRコードから  
ご覧いただけます。



## 初夏の只見町を感じる 「町民ハイキング」 開催

「町民ハイキング」が、6月12日に只見公民館の主催で開催され、親子や役員を合わせて約20人が参加しました。

開会式は、只見地区地域づくり委員会の鈴木厚会長があいさつを務め、準備運動として参加者全員でラジオ体操を行いました。

コースは、只見線広場から瀧神社を参拝し、農道を通り三石神社で折り返しました。

また、終了後には抽選会が行われ、参加者は楽しい時間を過ごしました。



▲ハイキングを楽しんだ参加者の皆さん

## ブナ林で爽やかな初夏を楽しむ

## ブナセンター自然観察会「初夏のブナ林観察会」



▲解説を聞く参加者と解説者を務めた紙谷館長

「初夏のブナ林観察会」が6月18日に、ただみ観察の森梁取のブナ林（学びの森）にて、只見町ブナセンターの主催で開催されました。

観察会では、観察路で見られる樹木62種のリストが配布され、参加者は林内を歩きながら気になった樹木の枝葉を採集しました。

参加者が採集した樹木は、紙谷ブナセンター館長より樹種名と見分け方、特徴、生態等を解説しました。

当日は暑い位の気温となりましたが、散策の途中では冷たいブナ林ブレンド茶も振舞われ、爽やかな初夏のブナ林を楽しむ観察会となりました。

## 町内で繁殖する鳥たちを観察

## ブナセンター観察会「春から初夏の野鳥観察会」開催

「春から初夏の野鳥観察会」が只見町ブナセンターの主催で開催されました。4月から6月はオシドリやオオルリなど、只見町で繁殖する鳥類の観察に適しており、全5回に渡って町内各地で観察会を行いました。

1回目は叶津、2回目は石伏、3回目は新田沢、4回目は塩ノ岐、5回目は毘沙沢を観察地とし、延べ50種が確認されました。オオアカゲラやアカショウビン、ノジコなどの珍しい夏鳥も出現し、町内で繁殖する鳥類の多様性を確認することができた観察会となりました。



▲樹上の鳥類を観察する参加者

## 只見町での子育てを考える 「子ども子育て講演会」開催

「子ども子育て講演会」が6月23日に朝日公民館で開催され、約40人が参加しました。福島県認定こども園協会会長を務める学校法人まゆみ学園理事長の古渡一秀氏が『只見町のちびっ子町民の未来へ 幼児教育の重要性と持続可能な只見町へ』をテーマに講演しました。

古渡氏は、「幼児期の教育が子どもの将来にとって重要です。今ここにいるすべての人が子育ての担い手です」と子どもを中心としたまちづくりの大切さについて話し、只見町における認定こども園の必要性についても触れました。



▲古渡氏は「幼児教育は高度なスキルを持った人材育成に繋がる」と話しました

## 幼児のうちから歯を守る 「第2回かるがもクラブ」開催



▲かるがもクラブに参加した皆さん

「第2回かるがもクラブ」が、6月23日に保健福祉センターで開催され、7組の親子が参加しました。

今回は、渡部和子さんを講師に、子どもが虫歯にならないためのおやつを取り方や歯の磨き方について、イラストや模型を用いて講話が行われました。

講話後、参加者は、日頃気になっていたことを相談するなど、今回の活動を通して、幼児期の歯の大切さと虫歯予防の重要性を改めて確認しました。

## 町民みんなの歌声を一つに 「只見の歌(仮)」レコーディングを行いました

「只見の歌(仮)」のレコーディング(歌の録音)が、6月2日から4日まで朝日公民館で行われました。

「只見の歌(仮)」は、NHKEテレ「おかあさんといっしょ」で2014年から2019年まで行われていた体操「ブンバ・ポーン!」の作詞・振り付けなどを手がけた「たにぞう」氏が楽曲の提供をしました。

今回の楽曲作成は、町民みんなが参加できる内容となっており、曲に合わせて身体を動かすことで子どもたちの発育・発達を促すことを主な目的としています。また、楽曲に合わせて、子どもからお年寄りの方まで皆が楽しく歌って踊れるダンス指導も予定されています。



▲子どもたちもレコーディングに参加されました

## ご寄贈ありがとうございました 書籍「縄文世界への旅 わたしの奥会津紀行」を 寄贈いただきました

荒尾駿介氏（二本松市）から自身が記した書籍「縄文世界への旅 わたしの奥会津紀行」を寄贈いただきました。

奥会津を紹介する本に目を通した荒尾氏が、奥会津を実際に旅し、奥会津地域の歴史や文化に触れて感じたことやその土地で生活を営んできた人へ思いを馳せたこと等が綴られています。また、荒尾氏は只見町にも訪れられ、叶津番所や只見駅など町内数カ所を巡り、感じたことも記しています。

この度のご寄贈に感謝いたします。ありがとうございました。



▲あとがきには、紀行を執筆された後も奥会津を訪問されたことが綴られており、書籍内には素敵な写真が掲載されています

## 子どもたちが頑張っています

### スポーツ少年団 剣道・ソフトボール 優勝

三瓶旗少年剣道大会は5月21日に会津若松市の若松商業高校で開催され、県内各地から参加者が集まる中、只見剣道スポーツ少年団が小学の部で優勝しました。当大会が4年ぶりの開催ということもあり、全団体がいつも以上に気合を入れて大会に臨みましたが、只見剣道スポーツ少年団も負けずに日頃の練習の成果を出し切り、優勝旗を持ち帰りました。

J A会津よつば組合長杯チビッコソフトボール大会は6月17日に南会津町のびわのかげソフトボール場で開催され、郡内7チームが参加する中、只見スポーツ少年団（ソフトボール）が優勝しました。日ごろから一生懸命に練習を積み重ねたところに、チームメイトや保護者の応援が相まって、郡内1位のチームに輝きました。



▲只見剣道スポーツ少年団



▲只見スポーツ少年団（ソフトボール）

## 町内外の皆さんに親しまれる只見音楽研究会 「結成60周年記念演奏会」開催

只見音楽研究会は「60周年記念演奏会」を6月4日に只見公民館集会室で開催しました。

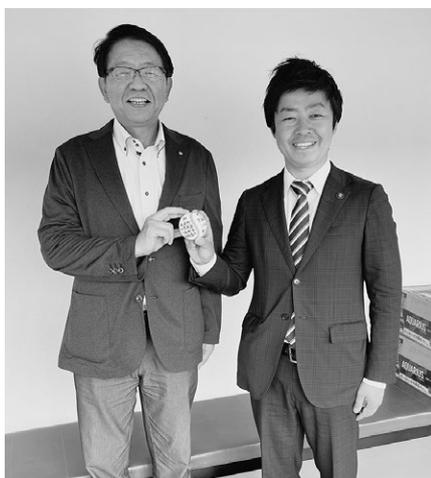
只見音楽研究会は、昭和36年に結成されて以来、「音研」（以降音研）の呼称で町内外の多くの方に親しまれ、令和3年に60周年を迎えました。しかし、新型コロナウイルスの影響により活動が思うように行えず、本年に記念演奏会が行われました。

演奏会には町外からのファンも訪れ、来場者は200人を超え、立ち見の人がいるほど大盛況でした。

音研の目黒俊行さんは「多くの方に支えられ、皆さんとともに迎えた60周年です。改めて、皆さんに感謝いたします。音研は私にとって人生そのものです。メンバーであることに誇りを持って、火を絶やさないようにしていきたい」と話しました。



▲只見町の皆さんだけでなく、多くの方に笑顔と感動を届けた演奏会になりました



▲両市町の思いが刻まれたボールを手に記念撮影をした両市町長

## 三条市と只見町の懸け橋に 三条市高校野球交流大会に 只見高校が招待されました

三条野球連盟は6月10、11日に三条パール金属スタジアムで「三条市高校野球交流大会」を開催し、只見高校野球部が招待されました。

只見高校野球部は、2日間で三条市内の4校と対戦しました。

また、初戦の始球式は、滝沢三条市長が投手、渡部只見町長がバッターを務めました。

滝沢市長は、「両市町が八十里越開通に向け機運を盛り上げていくきっかけにしてほしい」と話しました。

## 朝日地区地域づくり委員会 環境大臣賞表彰受賞

朝日地区地域づくり委員会が、地域環境美化功績者として環境大臣賞に選ばれ、その伝達式が6月26日に行われました。委員会を代表して、目黒俊行会長が表彰状と記念品を受取りました。

目黒会長は「毎年、ちょボラなど環境美化運動に取り組む地域の皆さんの努力の賜物だと思います。この表彰に恥じないように引き続き頑張ります」と話しました。



▲町長から伝達を受けた目黒会長

## どんな生きものが生息しているのかな

### 明和小学校 田んぼの生きもの調査活動 実施

明和小学校3、4年生が、田んぼに生息する生き物の多様性について理解を深めることを目的に、馬場由人さん（梁取）の田んぼで生きもの調査をしました。

調査には、明和地区の農家の方やアクアマリンふくしまの学芸員の方、南会津農林事務所に協力をいただきました。

児童は、採取した水生生物について学芸員に次々と質問し学びを深め、活動後には「貴重な生きものがいました」、「外来種の意味が分かりました」等の感想を話しました。



▲水生生物を採取する児童達

## 登山シーズン到来

### 只見四名山で山開き 癒しの森と恵みの森で森開き 実施



▲式典が行われた要害山の山開き

只見四名山の要害山（5月14日）、蒲生岳（6月4日）、会津朝日岳（6月11日）、浅草岳（6月25日）で山開きが行われ、癒しの森（4月29日）、恵みの森（5月27日）で森開きが行われました。

各イベントでは、登山カードと引き換えに、登山バッジが配布されました。また、要害山の山開きでは、式典が行われ、登山者の安全祈願などが行われました。

登山者は、登山道沿いに生息する草花を観察したり、道中で眼下に広がる景色を望んだり、また登山者同士で会話を交わすなどしながら、登山を楽しみました。

## 安全な伐採の仕方を楽しく学ぼう

### 三島の山学校 只見出張編 開催

合同会社遊心（只見町）の主催で「三島の山学校 第1回只見出張編」が6月4日に只見赤沢地内で開催されました。

講師はアイパワーフォレスト株式会社の社員が務めました。

午前中はチェーンソーの手入れや目立ての仕方などの安全講習が行われ、午後は枝打ちや玉切りなどの実技講習が行われました。

参加者は、「チェーンソーの扱いを学ぶ機会が無く独学で使用していたので、改めてチェーンソーの扱いを学ぶことができ良かったです」と話しました。



▲子どもたちも講師のお話しに耳を傾けていました

## 広報ただみ診療所

かぜに気をつけましょう

朝日診療所 医師 やまなみ ひろあき  
山並 寛明



朝日診療所医師の山並です。今回は軽い話なので気楽にお読みください。

6月は季節の変わり目のためかかぜの人が多く受診した印象です（かくいう私もかぜで2週間ほど体調を落としてしまいました）。また、子どもの間で様々な感染症がふたが外れたように流行している地域もあり、新型コロナウイルス感染症（コロナ）の蔓延防止の目的で行われていたマスク着用などの感染対策が緩和したことも関連していると言われます。

コロナは重症化がほぼしなくなったといえ高熱や強いのだ痛を生じた場合は相当つらいですし、コロナ以外のかぜでも健康を損なうためかからないうに越したことはありません。そこで、感染対策の基本を改めて確認してみたいと思います。

かぜに特化した対策には、ウイルスがどう体に侵入するかの知識が役に立ちます。ご存じの方も多いかもしれませんが、コロナや一般的なかぜは「飛沫感染」が主な感染経路です（「エアロゾル感染」や接触感染の話は割愛します）。飛沫感染はウイルスが体内にある人が飛ばした微小なつばを近くの人が吸い込んでうつるもので、これの予防にマスクが役立ちます。外に出る時マスクを着用して建物の中に入ると外す人がたまにいますが、一般的には屋内のほうが換気が悪く、つけるなら建物の中が良いと思います。

黙って息をしている人からつばはほとんど飛びませんが、咳やくしゃみでは段違いに飛沫が飛びます。それによる飛沫感染を防ぐためには本来は感染を受ける側よりも咳やくしゃみが出る人にマスクを着用してもらうか、なければティッシュや二の腕でとっさに口と鼻を覆ってもらった方が効果的です。この咳やくしゃみが出る時の作法を咳エチケットといいます。

咳やくしゃみ以外で飛沫が広がりやすいのは食事時のようです。食事をしながらマスクはできないため難しいところです。コロナは弱毒化しても感染力の強さは相変わらずですので、コロナにかかった人が家族にいてうつりたくない場合、食事はしばらく別々にとるのが無難です。

基本はもちろん疲れを貯めずに栄養バランスの良い食事をとって免疫力を保つことです。これから本格的な夏に移りますが、元気に乗り切りましょう。

## 地域おこし協力隊として Vol.103

只見町教育振興協力隊 向坂 雄一郎



早いもので、私が只見町に移住して3年目となりました。毎日違う顔を見せる素晴らしい自然、暖かな町の皆さんとの交流に日々励まされております。各種物価高騰の折、日々の赤字に怯え、目減りしていく貯蓄を思うとどうしても暗澹たる気持ちになることも多いですが、そんな時、この町の晴れ上がった抜けるような青い空や、緑なす山々、流れる水を眺めていると「まあ、いいか。もう少し頑張ろう。」という前向きな気持ちが湧いてきます。うまく表現できないことがもどかしいですが、この町にはこのような自然と人が織り成す「緩やかに人の根元的な生に訴えかける力」が満ちていると感じています。自然と人との共生が実にバランスがとれています。思えば、今まで冬は雪、春夏は土をいじり、また雑草の面倒を見るなんてことはありませんでした。移住当初はこれらが大変な苦痛でしたが、続けていくうちに「これが自然との関わりなのか。」と考えるようになりました。移住前後に大変お世話になった町の旅館の方が「雪は大変だけどコツコツと雪の面倒を見て過ごすのよ。その分春の訪れは本当に嬉しいの。」とおっしゃっていましたが、本当にそうなんだと実感しています。自然が見せる側面は、優しいものばかりではありませんが、それらと向き合い、関りを持つことによって、人間が本来的に持っている「生きる力」が刺激されるのだと思います。

この感覚は、なかなか外部の人に実感してもらうことが難しいですが、これが只見の大きな魅力の一つかと思っています。

発見!

# たからモノ ただみの文化遺産

第4回

お帰りなさい 雅舟先生

現在  
開催中

生誕百年 こんぼく 渾朴の書人 皆川雅舟展



## 只見町の雅舟書文化

ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、第2回企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴の書人」(会期：7月11日～10月9日 入館無料)を開催します。

皆川雅舟(政一郎、1923～2011)は、只見町田子倉に生まれ、1955年に田子倉ダムの建設によって郡山市に移住し、全国から出品される毎日書道展の審査員をつとめました。月刊書道誌を主宰して書道教育に力をつくし、福島県内外に多くの門人がいます。このような書道分野における精力的な活動が只見町民の師表になると認められ、只見町から「只見町名誉町民」の称号が贈られました。

只見町の多くの家や公共施設に、“雅舟先生”の作品が掲げられています。“雅舟先生”やその門人に書道を教わったり、家に“マイ雅舟”を飾ったりすること、それは只見町の“雅舟書文化”だといえます。



## 田子倉の自然が育んだ渾朴の書人

美術評論家の田宮文平(1937～2019)は、雅舟の書を「渾朴の書」と評し、田子倉の大自然に育まれたことが、雅舟の人と書の根本だと述べました。「渾朴」とは、「かざりけがなく、自然にわき出るありのままの姿」という意味です。

田子倉の深紅の秋、厳しい雪の冬、それを越えて来たる華麗な春、しかし春には憂愁が秘められていると雅舟はいいます。ふるさと田子倉の自然の美しさと恵みが、書人皆川雅舟を形成しました。

今回の企画展は、熊狩りの伝承を伝える家でもあった皆川家の狩りの巻物とヤマコトバ、田子倉集落の復元的景観と田子倉ダムの展示から始まります。

雅舟の書作品では、ふだん見ることができない屏風やパネルの大きな書作品を中心に約50点展示します。雅舟が使用した筆・墨・硯・雅印の名品も展示します。書人を形成したふるさと只見の地で、“雅舟作品”をぞんぶんに鑑賞(観照)できる展示です。みなさんの身近にある“雅舟作品”とその人を再認識してください。

文：久野俊彦  
写真：原永円香



◀「真善美の探究」の裏書



▲皆川雅舟作品「真善美の探究」(1989年に只見中学校に寄贈、只見町役場町下庁舎入口に掲示)



## ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報



第2回企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴の書人」

会期：2023年7月11日(火)～2023年10月9日(月・祝)

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール

入館無料



# 町民文芸

## 只見短歌会

令和五年六月詠草

老いし我にも青春はあり戦争のくやしき思ひ遠くなりたり  
馬場 八智

新緑に季節外れの夏日あり山のいただき残雪も見ゆ  
関谷登美子

金婚を過ぎて幾春迎へしやあの日と同じ花々の咲く  
目黒 富子

ハイハイの息子のうしろを追いかける次はどこへと行くのだらうか  
立花 奏音

母逝きて主なき椅子は寒どむと広く空きゐて言葉も減りぬ  
新国由紀子

孫や子らの戻りし後の家の中静かな居間にテレビの音響く  
渡部ヨリ子

手の届く範囲に物を置きて病む我の巡りのつね片付かず  
故 新国 洋子（遺作）

## 只見俳句会

六月定例会

馬鈴薯の花摘んで居る温女かな  
ブルーシート敷きつめ青梅落としけり  
一穂

一輪の苺の花や隠れおり  
初夏の風津軽のポスター閃きて  
修一

眠られぬ蛙の合唱夜もすがら  
風薫る学生街の喫茶店  
信

五月来る暑さも日増し季の早さ  
下萌えに小枝横たう庭の隅  
都

家々につつじ咲く街通りけり  
薔薇の花金婚祝いに五十本  
真理子

一人旅ひがしもにしも夏燕  
留守番の蜂一匹と愛犬と  
紺青

青蜥蜴家主のごとく家敷に居  
葉桜や古戦の跡の診療所  
恒夫

田水張る土塊りに波がしら  
川風の畑帰りやほととぎす  
礼



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課		
町民税務係		☎82-5110
生活安全係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
交流推進課		
観光係	商工労働係	☎82-5240
移住交流係		
薪エネルギー推進室		☎82-5220
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議事事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

## 税 今月の納期

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(1期)
- 農集排使用料(7月分)

7月25日までに  
納めましょう

## 試験

### 令和6年度只見町職員 (高校卒程度)(資格免許職) 採用候補者試験

#### 一、試験職種及び採用予定人員

- 一般事務 若干名
- 土木 若干名
- 建築 若干名

#### 【資格免許職】

- 保健師 若干名
- 看護師 若干名

#### 二、受験資格(学歴不問)

【高校卒程度】平成6年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者で、土木・建築職においては、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

#### 【資格免許職】

昭和48年4月2日以降に生まれた者で、保健師(保健婦)・看護師(看護婦)の免許を有する者、又は令和6年3月末までに資格取得見込みの者

#### 三、試験の方法

【第一次試験】  
教養試験(高校卒程度)及び各種検査

種検査(事務適性、性格特性、職場適応性)

【第二次試験】(第一次試験合格者)小論文、面接

#### 四、第一次試験の日時、会場

【日時】令和5年9月17日(日)

午前9時受付〜午後2時30分

#### 【場所】

南会津郡南会津町田島字田部原260 県立南会津高等学校

#### 五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

#### 六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に採用する者を決定します。(名簿は1年間有効)

#### 七、受験手続及び受付期間

#### 【手続方法】

申込用紙は総務企画課及び朝日・明和公民館で交付します。(郵送の場合は、1200円切手を貼った自分宛の返信封筒角2号を添付すること)

申込用紙に自分宛の返信封筒を添付し総務企画課へ提出ください。

#### 【受付期間】

令和5年8月10日(木)まで(郵送による場合は、8月8日(火)までの消印有効)

#### 八、申込及び問合せ先

南会津郡只見町大字只見字町下2591-30  
只見町役場 総務企画課総務係  
☎0241-8215210

### 令和6年度南会津地方広域 市町村圏組合職員採用候補 者試験(高校卒程度)

#### 一、試験職種及び採用予定人員

#### ○ 消防 若干名

#### 二、受験資格(学歴不問)

平成8年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者で、普通自動車運転免許(AT限定免許除く)の取得者又は取得見込者

#### 三、試験の方法

#### 【第一次試験】

教養試験及び適性検査、体力試験

【第二次試験】(第一次試験合格者)口述試験、作文試験、身体検査

#### 四、第一次試験の日時、会場

【日時】令和5年9月17日(日)

午前9時受付〜午後4時

#### 【場所】

南会津郡南会津町田島字西上川原乙65 南会津地方広域市町村圏組合消防本部・消防署庁舎

#### 五、発表

本組合等に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

#### 六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に採用する者を決定します。(名簿は1年間有効)

#### 七、受験手続及び受付期間

#### 【手続方法】

申込用紙は組合事務局及び消防本部・消防署、出張所等で交付します。(郵送の場合は1200円切手を貼った返信用封筒角2号を添付。HPからダウンロードの場合はA4判で印刷すること)

#### 【受付期間】

令和5年8月10日まで(郵送の場合は、8月10日必着)

#### 八、申込及び問合せ先

南会津郡南会津町田島字西上川原乙65 南会津地方広域市町村圏組合事務局  
☎0241-6210054

### 令和6年度南会津地方環境衛生 組合職員採用候補者試験 (高校卒程度)

#### 一、試験職種及び採用予定人数

#### ○ 技能労務職 若干名

#### 二、受験資格(学歴不問)

昭和63年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者

#### 三、試験の方法

【第一次試験】  
教養試験及び各種検査

#### 【第二次試験】(第一次試験合格者)作文及び個別面接

#### 四、第一次試験の日時、会場

【日時】令和5年9月17日(日)

午前9時受付〜午後2時

#### 【会場】

南会津郡南会津町田島字田部原260 県立南会津高等学校

#### 五、発表

各役場、組合掲示板に合格者の受験番号を掲示するほか合格者に通知します。

#### 六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に採用する者を決定します。(名簿は1年間有効)

#### 七、受験手続及び受付期間

#### 【手続方法】

申込用紙は、同組合及び西部環境センターで交付します。(郵送の場合は封筒の表に「試験申込用紙請求」と赤で記入し、1200円切手を貼った返信用封筒角2号を添付すること)

#### 【受付期間】

令和5年8月10日まで(郵送の場合は8月10日必着)

#### 八、申込及び問合せ先

南会津郡下郷町落合字下川原138-1 南会津地方環境衛生組合総務課  
TEL 0241-6712480



# 広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆「消防署只見出張所新庁舎」新築工事の安全祈願祭が6月21日に執り行われました。場所は長浜字川除地内です。鉄骨造2階建て延べ床面積543㎡と現庁舎より一回り大きな建物になります。

現在の建物は建設から約50年が経過し、老朽化や活動環境の手狭さ、そして日照時間が短い場所等様々な課題があります。

救急・消防活動の只見町の拠点が来年には新しくなるというお知らせです。

◆子どもの数が少なくなり、深刻な課題となつて久しくなっています。

今まで医療費の無料化、保育料の無料化、給食費の無料化等はずでに実施してきました。

出産や医療、子育て環境の整備、経済的な事柄など総合的に町の魅力を向上していく必要があると思います。

今年は2つのことに新たに取り組んでいます。

1つは認定こども園の設置を目標にした幼児教育の重要性の理解とそのための取り組みです。

もう1つは子どもの発育発達を促す「只見の歌(ダンス付き)」の制作です。子どもの数ばかりに目が行きがちですが、一人ひとりが健やかに、そして将来困難に出会ったとしても乗り越えていける力を養ってほしいと思つて、取り組みをしていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(今月号の8ページでご紹介しております。)

## 町長スケジュール〈6月分〉



- |   |  |
|---|--|
| 1日 (福)南会津会理事会、電源開発(株)副社長来庁                                  | 21日 広域消防只見出張所新築工事安全祈願祭、福島民報来庁、八木沢・叶津集落座談会                    |
| 2日 滝調整池堆砂対策連絡協議会(金山町)、電源開発(株)東日本支店長来庁、作詞家・振付師たにぞうさん来庁       | 22日 只見町青少年健全育成町民会議総会、東北電力会津若松支社来庁、蒲生集落座談会                    |
| 4日 只見音研60周年記念コンサート  | 24日 「ブナ林と狩人の会 マタギサミット in 只見」                                 |
| 5日 人権擁護委員情報交換会、議案検討庁議                                       | 26日 環境美化功績者環境大臣表彰伝達、内閣府廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所来庁、塩沢・十島・寄岩集落座談会     |
| 6日 JR只見線利用促進実行委員会、福島県電源地域振興財団評議員会(WE B)、南会津方部水災害対策協議会(WE B) | 27日 只見町土地改良区理事会・同総代会、舘ノ川・黒沢集落座談会                             |
| 7日 安心して暮らせる町づくり防犯講話   | 28日 只見川電源流域振興協議会定例総会、奥会津五町村活性化協議会定例総会(金山町)、只見町勤労者互助会理事会・同総代会 |
| 8日 一般質問検討庁議、福島県砂防課長来庁                                       | 29日 只見町職員互助会理事会、楢戸集落座談会                                      |
| 9日 (公社)福島県森林・林業・緑化協会役員会・同通常総会(福島市)                          | 30日 会津総合開発協議会役員会(会津若松市)、只見町職員労働組合定期大会                        |
| 10日 三条市高校野球交流大会(三条市)  |  |
| 13日 只見町議会6月会議(～16日)   |  |
| 19日 JR東日本総務部長来庁、地域共生社会推進会議委嘱状交付、政策調整会議、只見集落座談会              |  |
| 20日 議会全員協議会、福島放送会津支社長来庁、只見特産(株)取締役会                         |  |

# 町民の消息

(5月26日～6月25日届出分) 敬称略

## ■おくやみ申し上げます

渡部 良正	86歳	小川
渡部 巳代子	94歳	小川
馬場 祐佑	90歳	黒谷
五十嵐 香	95歳	蒲生
吉津 玲恵子	68歳	長浜
大竹 勝輝	80歳	布沢
長谷部 フミ子	91歳	叶津
渡部 ミツエ	87歳	長浜
三瓶 克之	65歳	大倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和5年6月1日現在

人	□	3,751	(-14)
男		1,865	(-5)
女		1,886	(-9)
世帯数		1,587	(±0)
高齢化率		49.0%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 11 出生 0 死亡 10

▽来月はいよいよ只見駅開業60周年です。皆さんと一緒に盛り上げていきましょう。  
▽只見四名山全てで山開きが終わり、登山シーズンに入りました。四名山それぞれに違った良さがあると思います。ぜひ、登って感じてみてください。  
▽蒸し暑さから夏を感じていませう。今年の最高気温は、いったい何度まで上がるのでしょうか。皆さんも熱中症などに気をつけてお過ごしください。(小林)

## あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## 只見公民館 図書紹介

只見公民館図書室  
☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★ぼくはいつだってどこにいるんだ

【著】ヨシタケ シンスケ (ブロンズ新社)



「発想えほん」シリーズ第5弾!

じぶんのことをちづにしてみると、わかることがたくさんある。いまだどこにいるのか、このあとどうしたいのか、なにがだいじなのか…ちづって、おもしろい!

ヨシタケシンスケ流、頭と心の整理整頓。

## ★成瀬は天下を取りに行く

【著】宮島 未奈 (新潮社)



中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭に、二百歳まで生きる堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない!

話題沸騰、圧巻のデビュー作。

○只見公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



(写真・文 吉岡義雄)

## ツマグロバッタ

(学名 : *Stethophyma magister*)

【バッタ目バッタ科】



▲ オス(左)の体色は黄色、メス(右)の体色は褐色。翅の端の黒紋が名前の由来

その名の通り、翅の端の黒紋が目立つやや大型のバッタです。胸部の断面が長方形になるスリムな体つきはイナゴ類によく似ており、ツマグロイナゴモドキという俗称もあります。成虫は7月初旬に現れ、9月中旬にはほとんど姿を消す夏のバッタです。

背丈の高いイネ科草本が密に茂る薄暗く湿った草地を好み、水田を含む湿地や沼地、河川などの周辺、林縁の茂みで見られます。同様にイネ科草本の上で見られるナキイナゴやハネナガイナゴと比較して、大型で体重も重い本種は、より太く頑丈で背丈の高い草を好み、主にススキなどの上で活動します。地上に降りた姿が見られるのは稀で、高い跳躍力を活かして草から草へ飛び移る姿がしばしば観察されます。只見町では、例年雪解け水で広い水溜りができる山際の斜面付近でもよく見られます。

只見町では広い範囲で見られるバッタですが、全国的には絶滅が危惧される地域もあり、5県のレッドリストに選定されています。生息に適した草地の減少が原因と考えられています。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。

また、7月下旬にはバッタの観察会も予定しています。参加のご予約は前日17:00まで。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「雪国のブナ」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

#### 自然観察会「夏のバッタ観察会」

河原編：開催日時 2023年7月23日(日) 8:30～10:00

集合場所 黒谷御蔵前駐車場

草原編：開催日時 2023年7月30日(日) 8:30～10:30

集合場所 ただみ・ブナと川のミュージアム